

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	浜見平団地(建替)第3期第4住宅(D-7号棟)	階数	地上8F
建設地	神奈川県茅ヶ崎市浜見平377-9の一部	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、準防火地域	平均居住人員	200人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年5月 予定	評価の実施日	2017年4月3日
敷地面積	6,215 m ²	作成者	株式会社市浦ハウジング&プランニング
建築面積	1,378 m ²	確認日	2017年4月5日
延床面積	7,142 m ²	確認者	株式会社市浦ハウジング&プランニング



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.8

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	64%
③上記+②以外の	64%
④上記+	64%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.3

<h4>Q1 室内環境</h4> <p>Q1のスコア = 3.8</p>	<h4>Q2 サービス性能</h4> <p>Q2のスコア = 2.9</p>	<h4>Q3 室外環境 (敷地内)</h4> <p>Q3のスコア = 3.1</p>
<h4>LR 環境負荷低減性</h4> <p>LR のスコア = 3.7</p>		
<h4>LR1 エネルギー</h4> <p>LR1のスコア = 4.4</p>	<h4>LR2 資源・マテリアル</h4> <p>LR2のスコア = 2.9</p>	<h4>LR3 敷地外環境</h4> <p>LR3のスコア = 3.4</p>

3 設計上の配慮事項		その他
総合 大規模団地における豊富な環境資産を生かし、地域の人々の暮らしの場にふさわしい多様でヒューマンな施設づくりに配慮している。		特になし
Q1 室内環境 2.1.3外皮性能において、住戸部分は日本住宅性能表示基準の省エネルギー性能等級4を取得することで、外界からの熱的侵入を抑制し、室内温度を維持するように努めている。	Q2 サービス性能 住宅は高齢者の入居に配慮して、住戸内の段差をできる限り小さくし、玄関、トイレ、洗面所、浴室に補助手摺を設置している。	Q3 室外環境 (敷地内) 敷地内の暑熱環境を緩和するために、空地面積をできるだけ緑化する計画としている。
LR1 エネルギー 日本住宅性能表示基準の省エネルギー性能等級4を取得することで、熱損失・熱取得の低減につとめ、冷暖房による使用エネルギー量の削減に努める。	LR2 資源・マテリアル 断熱材は全てノンフロン品を計画し汚染物質使用に配慮した計画としている。	LR3 敷地外環境 日本住宅性能表示基準の省エネルギー性能等級4を取得することで、エネルギーを効率的に利用し、建築設備から大気への排熱量を低減するように努めている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される